

開催協議会名	令和5年第2回出雲警察署協議会		
開催日時	令和5年7月6日(木)午後2時から午後4時まで		
出席者	協議会委員	11人(竹内会長、石倉副会長、山西副会長、大國委員、蒲生委員、曾田委員、安田委員、原委員、来間委員、名原委員、飯塚委員)	
	警察署	17人(署長、副署長、地域官、主査、総務課長、留置管理課長、生活安全課長、平田広域交番所長、大社広域交番所長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通総務課長、交通捜査課長、警備課長、生活安全課指導官、地域課指導官、刑事第一課指導官)	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	1 業務説明 (1) 交通事故発生状況等について (2) 出雲警察署整備事業の進捗状況について 2 特殊詐欺被害の水際対策について
		説明概要	業務説明後、管内の特殊詐欺の発生状況、水際対策の推進状況について説明した。
		答申(発言等)	1 業務説明 (1) 交通事故発生状況等について ○【委員発言】 高齢者参加型の講習は良かったと聞いた。このような講習はとてもためになると思う。 ○【警察署回答】 交通事故防止のため引き続き工夫した講習を実施する。 (2) 出雲警察署整備事業の進捗状況について 委員から発言なし 2 特殊詐欺被害の水際対策について ○【委員発言】 特殊詐欺被害が全ての年代を通じて発生しているとは知らなかった。 なお、「声かけプレート」などはいつ頃

から導入しているのか。

○【警察署回答】

平成30年頃からコンビニサポートポリスの運用が始まり、水際対策として「電子マネー用封筒」や「声かけプレート」を活用するようになった。コンビニでの声かけが重要であるが、店員も十分に声かけを行っていない状況である。

コンビニで電子マネーを購入する際、レジを必ず通るので被害を阻止するチャンスと認識している。コンビニでの声かけが徹底されるようコンビニサポートポリスの役割を果たしてまいりたい。

○【委員発言】

「声かけプレート」をあまり見ないので目に付く場所へ設置するよう働きかけてほしい。

○【委員発言】

特殊詐欺は相手を慌てさせてコントロールしようとする。そのコントロールを解くにはコンビニ側の声かけが大切であるが、コンビニ側の声かけ技術や防犯意識を向上させることが重要と考える。

○【委員発言】

電子マネーの陳列場所は店舗によって異なるが、陳列場所をレジ内にすれば、購入する際に必ず店員が声かけを行うことができるのではないかと。

その他、コンビニ側が電子マネーを購入しようとする者が分かり声かけができるよう店内の環境を整備すれば良いのではないかと。

○【委員発言】

特殊詐欺は全ての年代で被害を受けているとのことであるが、学校や企業など幅広い対象に啓発活動や協力依頼を行うことも有効ではないかと。

そ の 他

委員に対して委嘱状を交付した。

写 真



【委嘱状の交付状況】



【会長挨拶】



【協議状況】